

令和4年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査(令和4年度調査)  
後発医薬品の使用促進策の影響及び実施状況調査  
診療所票

※この「診療所票」は医療機関の開設者・管理者の方に、貴施設における後発医薬品の使用状況やお考えについてお伺いするものです  
が、開設者・管理者が指名する方にご回答いただいても結構です。

※ご回答の際は、あてはまる番号を○（マル）で囲んでください。また、（ ）内には具体的な数値、用語等をご記入ください。  
（ ）内に数値を記入する設問で、該当なしは「0（ゼロ）」を、わからない場合は「－」をご記入ください。

※数値を入力する設問で、「小数点以下第1位まで」と記載されている場合は、小数点以下第2位を四捨五入してご記入ください。  
記載されていない場合は、整数をご記入下さい。

※特に断りのない場合は、令和4年11月1日現在の状況についてご記入ください。

※災害に被災した等の事情により回答が困難な場合には、事務局へご連絡くださいますようお願い申し上げます。

0. あなたご自身についてお伺いします（令和4年11月1日現在）。

①性別 ※○は1つだけ	1. 男性			2. 女性		
②年代 ※○は1つだけ	1. ~20代以下	2. 30代	3. 40代	4. 50代	5. 60代以上	
③開設者・管理者の別 ※○は1つだけ	1. 開設者兼管理者		2. 開設者		3. 管理者	
	17. その他（具体的に：_____）					
④ <u>主たる</u> 担当診療科 ※○は1つだけ	1. 内科 <sup>注1</sup>	2. 外科 <sup>注2</sup>	3. 精神科	4. 小児科		
	5. 皮膚科	6. 泌尿器科	7. 産婦人科・産科	8. 眼科		
	9. 耳鼻咽喉科	10. 放射線科	11. 脳神経外科	12. 整形外科		
	13. 麻酔科	14. 救急科	15. 歯科・歯科口腔外科	16. リハビリテーション科		
	17. その他（具体的に：_____）					

注1: 内科、腎臓内科、血液内科、リウマチ内科、糖尿病内科、消化器内科、呼吸器内科、循環器内科、感染症内科、アレルギー内科、心療内科、神経内科は、「1.内科」としてご回答ください。  
注2: 外科、呼吸器外科、心臓血管外科、乳腺外科、気管食道外科、消化器外科、肛門外科、小児外科は、「2.外科」としてご回答ください。

1. 貴施設の状況についてお伺いします（令和4年11月1日現在）。

①所在地	( ) 都・道・府・県				
②開設者 ※○は1つだけ	1. 個人	2. 法人	3. その他	③開設年	西暦 ( ) 年
④種別 ※○は1つだけ	1. 無床診療所		2. 有床診療所 → 許可病床数 ( ) 床		
⑤標榜診療科 ※あてはまる番号すべてに○	1. 内科 <sup>注1</sup>	2. 外科 <sup>注2</sup>	3. 精神科	4. 小児科	
	5. 皮膚科	6. 泌尿器科	7. 産婦人科・産科	8. 眼科	
	9. 耳鼻咽喉科	10. 放射線科	11. 脳神経外科	12. 整形外科	
	13. 麻酔科	14. 救急科	15. 歯科・歯科口腔外科	16. リハビリテーション科	
	17. その他(具体的に: )				

【前記⑤で「1.内科」と回答した方にお伺いします。】

⑤-1 内科の詳細 ※あてはまる番号すべてに○			
1. 腎臓内科	2. 血液内科	3. リウマチ内科	4. 糖尿病内科
5. 消化器内科	6. 呼吸器内科	7. 循環器内科	8. 1～7に該当なし

【前記⑤で「2.外科」と回答した方にお伺いします。】

⑤-2 外科の詳細 ※あてはまる番号すべてに○			
1. 呼吸器外科	2. 心臓血管外科	3. 乳腺外科	4. 気管食道外科
5. 消化器外科	6. 肛門外科	7. 小児外科	8. 1～7に該当なし

【すべての方にお伺いします。】

⑥ オーダリングシステムの導入状況 ※あてはまる番号すべてに○	1. 一般名処方に対応できるオーダリングシステムを導入している
	2. 後発医薬品名が表示されるオーダリングシステムを導入している
	3. バイオ後続品 <sup>注1</sup> が表示されるオーダリングシステムを導入している
	4. オーダリングシステムを導入している（上記 1, 2, 3の機能はない）
	5. オーダリングシステムを導入していない
⑦ 外来の院内・院外処方の割合	院内処方（      ）% + 院外処方（      ）% = 100% <sup>注2</sup>
⑧ 医師数（常勤のみ）	（      ）人
⑨ 薬剤師数（常勤のみ）	（      ）人 ※ゼロの場合は「0」とご記入ください。

注1: バイオ後続品とは、国内で既に新有効成分含有医薬品として承認されたバイオテクノロジー応用医薬品（以下「先行バイオ医薬品」という。）と同等／同質の品質、安全性、有効性を有する医薬品として、異なる製造販売業者により開発される医薬品です。  
本調査における「バイオ後続品」には、後発医薬品として承認されたバイオ医薬品（いわゆるバイオAG、先行品工場で製造された先行品と同一のバイオ医薬品）を含みます。

注2: 算定回数ベースにて整数でご記入ください。正確な数がわからない場合は概数でご記入ください。

例えば、院内投薬のみの場合は、院内処方に「100」を、院外処方に「0」をご記入ください。また、院外処方のみの場合は、「院内処方」に「0」を、「院外処方」に「100」をご記入ください。

⑩ 外来後発医薬品使用体制加算の算定状況 ※○は1つだけ	令和3年11月1日		令和4年11月1日		
	1. 算定していない		1. 算定していない		
	2. 外来後発医薬品使用体制加算1		2. 外来後発医薬品使用体制加算1		
	3. 外来後発医薬品使用体制加算2		3. 外来後発医薬品使用体制加算2		
	4. 外来後発医薬品使用体制加算3		4. 外来後発医薬品使用体制加算3		
⑪ 供給停止となっている後発医薬品等の診療報酬上の臨時的な取扱いの適用（令和4年11月1日時点）			1. あり	2. なし	
		令和3年8月～10月の月平均値		令和4年8月～10月の月平均値	
⑫ 外来患者延数		（      ）人/月		（      ）人/月	
⑬ 在院患者延数		（      ）人/月		（      ）人/月	
⑭ 生活習慣病治療のための平均的な処方日数をご回答ください。（最多頻度の患者像でご回答ください） ※○は1つ ※令和3年10月および令和4年10月の両方に対象患者がいる場合、ご回答ください。 ※対象患者がいない場合は、「対象患者がいない時点がある」に○をつけて次の設問へお進みください。					
	対象患者の有無	令和3年10月1か月間		令和4年10月1か月間	
1) 糖尿病治療薬	1. 両時点で対象患者がいる	1. ～4週	2. 5～8週	1. ～4週	2. 5～8週
	2. 対象患者がいない時点がある	3. 9～12週	4. 13週～	3. 9～12週	4. 13週～
2) 高血圧症治療薬	1. 両時点で対象患者がいる	1. ～4週	2. 5～8週	1. ～4週	2. 5～8週
	2. 対象患者がいない時点がある	3. 9～12週	4. 13週～	3. 9～12週	4. 13週～
3) 脂質異常症治療薬	1. 両時点で対象患者がいる	1. ～4週	2. 5～8週	1. ～4週	2. 5～8週
	2. 対象患者がいない時点がある	3. 9～12週	4. 13週～	3. 9～12週	4. 13週～

→ 無床診療所で院外処方が5%以上の施設の方は6ページの質問5に進んでください。

【2. は有床診療所の方、または無床診療所で院外処方5%未満の施設の方にお伺いします。】

2. 貴施設における後発医薬品の採用状況等についてお伺いします。

※金額を記入する設問では、千円未満は切り捨て(例:10万4400円⇒ 104,000円)注1

医薬品区分	備蓄品目数 (令和4年11月1日)※注2	購入金額 (令和4年8月 ～10月までの合計額)	廃棄額注3 (令和4年8月 ～10月までの合計額)
① 調剤用医薬品	約 ( ) 品目	約 ( ) 円	約 ( ) 円
②1) ①のうち後発医薬品	約 ( ) 品目	約 ( ) 円	約 ( ) 円
②2) ①のうち先行バイオ医薬品	約 ( ) 品目	約 ( ) 円	約 ( ) 円
②3) ①のうちバイオ後続品	約 ( ) 品目	約 ( ) 円	約 ( ) 円

注1: 正確な金額がわからない場合は、概数でご記入ください。

注2: 令和4年11月1日の数値が不明の場合は、貴施設が把握している直近月の初日の数値をご記入ください。

注3: 経時変化や陳旧化した品目等による廃棄損耗金についてもご記入ください。

③後発医薬品使用割合<新指標、数量ベース> ※小数点以下第 1 位まで	令和3年8月～10月	約 ( ) %
	令和4年8月～10月	約 ( ) %
④カットオフ値注4の割合 (調剤報酬算定上の数値) ※小数点以下第 1 位まで	令和3年8月～10月	約 ( ) %
	令和4年8月～10月	約 ( ) %

注4: カットオフ値(%)の算出式 = (後発医薬品ありの先発医薬品 + 後発医薬品) ÷ 全医薬品

⑤後発医薬品の採用状況について、最も近いものはどれですか。 ※○は1つだけ	
1. 後発医薬品を積極的に採用	2. 薬の種類によって、後発医薬品を積極的に採用
3. 患者によって、後発医薬品を積極的に採用	4. 後発医薬品を積極的に採用していない
⑥後発医薬品を採用する際に重視することは何ですか。 ※あてはまる番号すべてに○	
1. 後発医薬品メーカーが原薬、添加剤の製造国・製造場所を公開していること	
2. 後発医薬品メーカーが共同開発についての情報を公開していること	
3. GMP(医薬品の製造管理及び品質管理の基準)上、問題のないメーカーの製品であること	
4. メーカー(卸を通じたものも含む)からの情報提供が頻繁にあること	
5. 他の後発医薬品よりも薬価が安価であること	
6. 大病院で採用されていること	
7. 近隣の保険医療機関(病院・診療所)で採用されている処方銘柄であること	
8. 後発医薬品の適応症が先発医薬品と同一であること	
9. 納品までの時間が短いこと	
10. 欠品(品切れ)注5のない会社の製品であること	
11. 出荷調整のない会社の製品であること	
12. 供給停止や回収等の問題事例のない会社の製品であること	
13. 患者からの評判が良いこと	
14. 調剤がしやすい(例:容易に半割ができる、一包化調剤がしやすい) こと	
15. 患者が使用しやすいよう医薬品に工夫がなされていること (例:味が良い、かぶれにくいなど)	
16. メーカーの問い合わせ窓口における対応が充実していること	
17. 先発医薬品メーカー・その子会社が扱う後発医薬品であること	
18. 信頼のおける後発医薬品メーカーが扱う後発医薬品であること	
19. オーソライズドジェネリックであること	
20. 包装の仕様としてバラ包装があること	
21. 簡易懸濁法に関する情報が記載されていること	
22. その他(具体的に: )	
⑦上記⑥の選択肢1～22のうち、最もあてはまる番号を1つだけお書きください。	

注5: 注文日を含めた供給不能期間が、平日は2～3日(遠隔地は4日)、土日を含んだ場合は2～5日(遠隔地は5～6日)以上の場合は指す。

→有床診療所の方は質問3に進んでください。

→無床診療所の方は5ページの質問4に進んでください。

【3. は有床診療所の方にお伺いします。】

3. 入院患者に対する後発医薬品（バイオ後続品を除く）の使用に関するお考えについてお伺いします。

※ここでは、造影剤などの検査に用いる医薬品を含め、内服薬、注射薬及び外用薬の全てを対象とします。

	令和3年11月1日	令和4年11月1日
①後発医薬品使用体制加算の算定状況 ※○は1つだけ	1. 算定していない	1. 算定していない
	2. 後発医薬品使用体制加算1	2. 後発医薬品使用体制加算1
	3. 後発医薬品使用体制加算2	3. 後発医薬品使用体制加算2
	4. 後発医薬品使用体制加算3	4. 後発医薬品使用体制加算3
②後発医薬品の使用割合を新指標で算出するに当たって問題はありますか。 ※○は1つだけ ※算出方法：後発医薬品の規格単位数量/後発医薬品あり先発医薬品及び後発医薬品の規格単位数量		
1. ある	2. ない	

【前記②で「1.ある」と回答した方にお伺いします。】

②-1 具体的な問題点はどのようなものですか。 ※あてはまる番号すべてに○
1. 薬剤情報の抽出、集計等の処理に手間がかかる
2. 算出用コードの変更が多く、修正作業が負担である
3. オーダリングシステムを導入していない
4. その他（具体的に：_____）

【質問3の対象となるすべての方にお伺いします。】

③入院患者に対する後発医薬品の使用状況について、最も近いものはどれですか。 ※○は1つだけ	
1. 後発医薬品を積極的に使用	2. 薬の種類によって、後発医薬品を積極的に使用
3. 患者によって、後発医薬品を積極的に使用	4. 後発医薬品を積極的には使用してしない
④今後、どのような対応が進めば、診療所として、入院患者への投薬・注射における後発医薬品の使用を進めてもよいと思いますか。 ※あてはまる番号すべてに○	
1. 厚生労働省による、医師や薬剤師に対する後発医薬品の品質保証が十分であることの周知徹底	
2. 後発医薬品メーカー・卸による情報提供体制の確保	
3. 後発医薬品に関する安定供給体制の確保	
4. 後発医薬品の価格のバラツキや品目数の整理統合	
5. 先発医薬品名を入力すると一般名処方できるオーダリングシステムの導入	
6. 後発医薬品に対する患者の理解	
7. 後発医薬品を使用する際の診療報酬上の評価	
8. 後発医薬品の使用割合についての診療報酬上の評価	
9. 後発医薬品の原薬、製剤に関する製造方法、製造場所、製造国、共同開発などの情報開示	
10. 患者負担が軽減されること	
11. 患者からの希望が増えること	
12. その他（具体的に：_____）	
13. 特に対応は必要ない	
⑤上記④の選択肢1～12のうち、最もあてはまる番号を1つだけお書きください。	

→外来の院外処方が5%未満の施設の方は、5ページの質問4にご回答ください。

→外来の院外処方が5%以上の施設の方は、6ページの質問5にご回答ください。



【4. は「有床診療所で外来の院外処方が5%未満の施設の方」または「無床診療所で外来の院外処方が5%未満の施設の方」に伺います。】

4. 外来診療時における院内投薬の状況や後発医薬品（バイオ後続品を除く）の使用に関するお考えについてお伺いします。

①外来診療時の院内投薬における後発医薬品の使用に関するお考えとして、最も近いものはどれですか。  
※○は1つだけ

1. 後発医薬品を積極的に使用	2. 薬の種類によって、後発医薬品を積極的に使用
3. 患者によって、後発医薬品を積極的に使用	4. 後発医薬品を積極的に使用していない

【前記①で選択肢 1.~3.(後発医薬品を積極的に使用する)と回答した方にお伺いします。】

①-1 後発医薬品を積極的に使用する場合、その理由は何ですか。 ※あてはまる番号すべてに○

1. 患者が後発医薬品の使用を希望するから	2. 患者の経済的負担が軽減できるから
3. 飲みやすさなど製剤に工夫がみられるから	4. 診療報酬上の評価があるから
5. 経営上のメリットがあるから	6. 医療費削減につながるから
7. 国が後発医薬品の使用促進を図っているから	8. その他（具体的に： ）

【前記①で「4.後発医薬品を積極的には使用していない」と回答した方にお伺いします。】

①-2 後発医薬品を積極的には使用していない場合、その理由は何ですか。 ※あてはまる番号すべてに○

1. 後発医薬品の品質や有効性、安全性に疑問があるから
2. 適応症が異なるから
3. 後発医薬品の安定供給に不安があるから
4. 後発医薬品に関する情報提供が不足しているから →不足している情報（ ）
5. 先発医薬品の薬価差益が後発医薬品の薬価差益よりも大きいから
6. 先発医薬品と後発医薬品の両方を備蓄するのは困難だから
7. 患者が先発医薬品を希望するから
8. 患者の容態等から先発医薬品がよいと判断したから
9. 先発医薬品では、調剤がしやすいよう製剤上の工夫がされているから
10. その他（具体的に： ）

【質問4の対象となるすべての方にお伺いします。】

②令和4年4月以降、患者から後発医薬品の処方求められたことがありますか。 ※○は1つだけ

1. ある	2. ない →7ページの質問6へ
-------	------------------

【前記②で「1.ある」と回答した方にお伺いします。】

②-1 前記②で後発医薬品の処方を求められた場合、どのような対応をしましたか。 ※あてはまる番号すべてに○

1. 後発医薬品を処方・調剤した
2. 後発医薬品が存在しないため先発医薬品を処方・調剤した
3. 後発医薬品を採用していないため先発医薬品を処方・調剤した
4. 対応しなかった（理由：_____）
5. その他（具体的に：_____）

→10ページの質問6へ進んでください。

【5. は「有床診療所で外来の院外処方」が5%以上の施設の方」または  
「無床診療所で院外処方」が5%以上の施設の方」にお伺いします。】

5. 外来診療における処方箋発行時の状況や後発医薬品（バイオ後続品を除く）の処方に関するお考えをお伺いします。

①処方箋料の算定回数 ※令和4年10月1か月間		( ) 回	
		令和3年11月1日	令和4年11月1日
②一般名処方加算の算定回数	一般名処方加算1	( ) 回	( ) 回
	一般名処方加算2	( ) 回	( ) 回
③施設としての後発医薬品の処方に関するお考えとして、最も近いものはどれですか。 ※○は1つだけ			
1. 後発医薬品を積極的に処方 ※一般名処方の場合や「変更不可」欄にチェック等を行わない場合を含みます。			
2. 薬の種類によって、後発医薬品を積極的に処方			
3. 患者によって、後発医薬品を積極的に処方			
4. 後発医薬品を積極的には処方していない →質問③-2へ			

【前記③で選択肢 1.～3.(後発医薬品を積極的に処方する)と回答した方にお伺いします。】

③-1 後発医薬品を積極的に処方する場合、その理由は何ですか。 ※あてはまる番号すべてに○

1. 患者が後発医薬品の使用を希望するから	2. 患者の経済的負担が軽減できるから
3. 飲みやすさなど製剤に工夫がみられるから	4. 診療報酬上の評価があるから
5. 経営上のメリットがあるから	6. 医療費削減につながるから
7. 国が後発医薬品の使用促進を図っているから	8. 保険薬局が信頼できるから
9. その他（具体的に： )	

【前記③で「4.後発医薬品を積極的には処方しない」と回答した方にお伺いします。】

③-2 後発医薬品を積極的には処方しない場合、その理由は何ですか。 ※あてはまる番号すべてに○

1. 後発医薬品の品質や有効性、安全性に疑問があるから
2. 適応症が異なるから
3. 後発医薬品の安定供給に不安があるから
4. 後発医薬品に関する情報提供が不足しているから →不足している情報 ( )
5. 先発医薬品の薬価差益が後発医薬品の薬価差益よりも大きいから
6. 先発医薬品と後発医薬品の両方を備蓄するのは困難だから
7. 一般名の記入がしにくいから
8. 患者が先発医薬品を希望するから
9. 患者の容態等から先発医薬品がよいと判断したから
10. 先発医薬品では、調剤しやすいよう製剤上の工夫がされているから
11. その他（具体的に： )

【設問5の対象となるすべての方にお伺いします。】

④1年前と比較して、後発医薬品の処方数（一般名処方や後発医薬品への「変更不可」としない処方箋も含みます）は、 どのように変化しましたか。 ※○は1つだけ		
1. 多くなった	2. 変わらない	3. 少なくなった
⑤令和4年4月以降、「変更不可」欄に「レ」又は「×」を記した処方箋を発行したことはありますか。 ※○は1つだけ		
1. ある	2. ない →質問⑥へ	



【設問5の対象となるすべての方にお伺いします。】

⑥現在、一般名処方による処方箋を発行していますか。 ※○は1つだけ

- |           |                    |
|-----------|--------------------|
| 1. 発行している | 2. 発行していない →質問⑥-3へ |
|-----------|--------------------|

【前記⑥で「1. 発行している」と回答した方にお伺いします。】

⑥-1 2年前と比較して、一般名で記載された医薬品の処方数はどのように変化しましたか。 ※○は1つだけ

- |          |                |                 |
|----------|----------------|-----------------|
| 1. 多くなった | 2. 変わらない →質問⑦へ | 3. 少なくなった →質問⑦へ |
|----------|----------------|-----------------|

【前記⑥-1で「1. 多くなった」と回答した方にお伺いします。】

⑥-2 一般名で記載された医薬品の処方数が多くなった理由は何のようなものですか。

※あてはまる番号すべてに○

- |   |                       |
|---|-----------------------|
| 1. 一般名処方加算の点数が引き上げられたから                   | 2. 後発医薬品の品質への不安が減ったから |
| 3. 後発医薬品の安定供給への不安が減ったから                   | 4. 先発医薬品を希望する患者が減ったから |
| 5. オーダリングシステムの変更など一般名処方に対応できる院内体制が整備されたから |                       |
| 6. その他（具体的に： _____）                       |                       |

【前記⑥で「2. 発行していない」と回答した方にお伺いします。】

⑥-3 一般名処方による処方箋を発行していない理由は何ですか。 ※あてはまる番号すべてに○

- |                                 |
|---------------------------------|
| 1. オーダリングシステムや電子カルテが未導入であるため    |
| 2. 現在のシステムが一般名処方に対応していないため      |
| 3. 処方箋が手書きのため                   |
| 4. 一般名では分かりにくく、医療従事者が混乱するため     |
| 5. 一般名では分かりにくく、患者が混乱するため        |
| 6. 手間が増えるため                     |
| 7. 保険薬局がメーカーを選択できることに疑問や不安があるため |
| 8. その他（具体的に： _____）             |
| 9. 特に理由はない                      |

【設問5の対象となるすべての方にお伺いします。】

⑦「一般名処方の調剤」または「後発医薬品への変更調剤」について、保険薬局から提供された、実際に調剤した後発医薬品の銘柄等に関する情報はどのように保管していますか。 ※○は1つだけ

- |  |
|--|
| 1. カルテと共に保管している                                  |
| 2. カルテとは別に保管している                                 |
| 3. 確認はするが保管はしていない                                |
| 4. 情報提供はあるが確認や保管を行っていない →質問⑧へ                    |
| 5. 保険薬局から実際に調剤した後発医薬品の銘柄等に関する情報を受け取ったことがない →質問⑧へ |
| 6. その他（具体的に： _____） →質問⑧へ                        |

【前記⑦で「1. カルテと共に保管している」「2. カルテとは別に保管している」「3. 確認はするが保管はしていない」と回答した方にお伺いします。】

⑦-1 「一般名処方の調剤」または「後発医薬品への変更調剤」について、保険薬局から提供された、実際に調剤した後発医薬品の銘柄等に関する情報はどのように活用していますか。 ※あてはまる番号すべてに○

- |                             |                         |
|-----------------------------|-------------------------|
| 1. 診察の際に前回の処方を確認するため        | 2. 有害事象等があった場合の原因を調べるため |
| 3. 処方薬について、患者から相談があった際に参照する |                         |
| 4. 患者の後発医薬品に対する意向を知るため      | 5. 薬局の調剤の傾向を知るため        |
| 6. 活用目的はなくても、情報提供があれば目を通す   |                         |
| 7. その他（具体的に： _____）         |                         |



【設問5の対象となるすべての方にお伺いします。】

⑧一般名処方や変更可能な後発医薬品の調剤について、後発医薬品の銘柄等に関する情報提供は「お薬手帳」以外に、必要ですか。 ※○は1つだけ

- |                                 |
|---------------------------------|
| 1. 必要である →理由( )                 |
| 2. 必要な場合がある<br>→必要な場合の具体的な理由( ) |
| 3. 必要ではない                       |
| 4. その他 (具体的に: )                 |

⑨令和4年4月以降、患者から後発医薬品の処方を求められたことがありますか。 ※○は1つだけ

- |       |             |
|-------|-------------|
| 1. ある | 2. ない →質問⑩へ |
|-------|-------------|

【前記⑨で「1.ある」と回答した方にお伺いします。】

⑨-1患者から後発医薬品の処方を求められた際、どのような対応をしましたか。 ※あてはまる番号すべてに○

- |                                |
|--------------------------------|
| 1. 先発医薬品を処方し、変更不可の欄に署名しなかった    |
| 2. 後発医薬品を処方し、変更不可の欄に署名しなかった    |
| 3. 後発医薬品を処方し、変更不可の欄に署名した       |
| 4. 一般名で処方した                    |
| 5. 後発医薬品が存在しない医薬品であるので対応できなかった |
| 6. 対応しなかった                     |
| 7. その他 (具体的に: )                |

【設問5の対象となるすべての方にお伺いします。】

⑩一般名処方による処方箋を発行した際、薬局でどのような医薬品が調剤されたかについて知りたいですか。 ※○は1つだけ

- |                   |                           |
|-------------------|---------------------------|
| 1. 全ての処方箋について知りたい | 2. 特定の条件に該当する処方箋については知りたい |
| 3. 知りたいとは思わない     |                           |

⑪「一般名処方の調剤」または「後発医薬品への変更調剤」について、どのような方法・タイミングで処方医に情報提供されることが最も望ましいと思いますか。 ※○は1つだけ

- |  |                         |
|--|-------------------------|
| 1. 薬局から、調剤をした都度                                | 2. 薬局から、一定期間に行った調剤をまとめて |
| 3. 薬局から、特定の場合にのみ（前回と調剤内容が異なる場合、副作用の問題が発生した場合等） |                         |
| 4. 患者から、お薬手帳等により次の診療日に                         | 5. 必要ない                 |
| 6. その他 (具体的に: )                                |                         |

⑫「一般名処方の調剤」または「後発医薬品への変更調剤」の情報提供の頻度等について、保険薬局と予め合意した方法で行っていますか。 ※○は1つだけ

- |                           |
|---------------------------|
| 1. 主に合意した方法で行っている →質問⑫-1へ |
| 2. 保険薬局によって様々である →質問⑫-1へ  |
| 3. 合意した方法はない →質問⑬へ        |
| 4. その他 (具体的に: ) →質問⑬へ     |

【前記⑫で「1.主に合意した方法で行っている」または「2.保険薬局によって様々である」と回答した方にお伺いします。】

⑫-1 その方法はどのようなものですか。 ※あてはまる番号すべてに○

- |  |
|--|
| 1. 調剤をした都度提供すること                         |
| 2. 原則、調剤をした都度行うが、前回と同じ内容であった場合には連絡しないとする |
| 3. 一定期間に行った調剤をまとめて提供すること                 |
| 4. お薬手帳等により患者経由で次の診療日に提供すること             |
| 5. 副作用等問題が発生した時だけ提供すること                  |
| 9. その他 (具体的に: )                          |

【設問5の対象となるすべての方にお伺いします。】

⑬後発医薬品使用に関する患者の意向を把握・確認する頻度として最も多いのは何ですか。 ※○は1つだけ	
1. 処方の都度、毎回、確認している	2. 毎回ではないが、時々、確認している
3. 治療方針を変更する際に確認している	4. 新しい後発医薬品が発売された時に確認している
5. 特に確認していない	6. その他（具体的に： _____）

【6. はすべての診療所の方にお伺いします。】

6. 後発医薬品（バイオ後続品を除く）の使用に関するお考えについてお伺いします。

①後発医薬品について、「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律（旧薬事法）」に基づく厚生労働大臣の承認を得るためには、どのようなデータ（例えば、人での血中濃度を測定する臨床試験データなど）が必要か、ご存知ですか。 ※○は1つだけ		
1. だいたい知っている	2. 少しは知っている	3. ほとんど知らない
②厚生労働省では、医療関係者向けに『ジェネリック医薬品への疑問に答えます～ジェネリック医薬品Q&A～＜平成27年2月 第3版発行＞』を作成し、ホームページでも公開していますが、このことをご存知ですか。 ※○は1つだけ		
1. 知っている（内容も見た）	2. 知っている（内容は見ていない）	3. 知らない
③今現在、後発医薬品に関して不信感がありますか。 ※○は1つだけ		
1. ある	2. ない →質問④へ	

【前記③で「1.ある」と回答した方にお伺いします。】

③-1不信感を抱いたきっかけは何ですか。 ※あてはまる番号すべてに○	
1. 先発医薬品との効果・副作用の違いを経験した	
2. 先発医薬品との使用感（味、色、剤形、粘着力等）の違いを経験した	
3. 後発医薬品メーカー間での効果の差を経験した	
4. 使用していた後発医薬品が品切れ・製造中止となった	
5. メーカーから必要な情報が公開されていなかった	
6. メーカーに情報提供を求めたが、対応に満足できなかった	
7. 医療関係者から後発医薬品に関する苦情を聞いた	
8. 後発医薬品の品質に疑問を呈するマスメディアの情報を見た・聞いた	
9. その他（具体的に： _____）	

【すべての方にお伺いします。】

④今後、どのような対応がなされれば、医師の立場として後発医薬品の使用を進めてもよいと思いますか。 ※あてはまる番号すべてに○	
1. 厚生労働省による、医師や薬剤師に対する後発医薬品の品質保証が十分であることの周知徹底	
2. 後発医薬品メーカー・卸による情報提供体制の確保	
3. 後発医薬品に関する安定供給体制の確保	
4. 後発医薬品の価格のバラツキや品目数の整理統合	
5. 先発医薬品名を入力すると一般名処方できるオーダーリングシステムの導入	
6. 後発医薬品に対する患者の理解	
7. 後発医薬品を使用する際の診療報酬上の評価	
8. 後発医薬品の使用割合についての診療報酬上の評価	
9. 後発医薬品の原薬、製剤に関する製造方法、製造場所、製造国、共同開発などの情報開示	
10. 患者負担が軽減されること	
11. 患者からの希望が増えること	
12. その他（具体的に： _____）	
13. 特に対応は必要ない	
⑤前記④の選択肢1.～12.のうち、最もあてはまるものの番号を1つだけお書きください。	
⑥医薬品を安く調達するために、他の医療機関等と共同で医薬品を調達する取組を行っていますか。 ※○は1つだけ	
1. 行っている	2. 行っていない

⑦貴施設の所属する地域における地域フォーミュラリーの状況について教えてください。 ※○は1つだけ  
※有効性や安全性、費用対効果などを踏まえて作成された採用医薬品リスト等(いわゆる「フォーミュラリー」)を地域の医療機関や薬局等の間で共有し、運用する取り組みを「地域フォーミュラリー」と呼びます。

- |                              |                     |
|------------------------------|---------------------|
| 1. 地域フォーミュラリーが存在する           | 2. 地域フォーミュラリーは存在しない |
| 3. 地域フォーミュラリーを作成中である         | 4. どのような状況であるか分からない |
| 5. 地域フォーミュラリーがどのようなものかが分からない |                     |

【前記⑦で「1.地域フォーミュラリーが存在する」、「3.地域フォーミュラリーを作成中である」と回答した方にお伺いします。】

⑦-1. 貴施設は、地域フォーミュラリーの作成・改訂に関与していますか。 ※○は1つだけ

- |           |            |
|-----------|------------|
| 1. 関与している | 2. 関与していない |
|-----------|------------|

【前記⑦で「2.地域フォーミュラリーは存在しない」、「4.どのような状況であるか分からない」と回答した方にお伺いします。】

⑦-2. 地域フォーミュラリーの必要性や地域で作成する場合の関与について教えてください。 ※○は1つだけ

- |   |
|---|
| 1. 地域フォーミュラリーの必要性を感じており、地域で作成する場合は積極的に関与したい     |
| 2. 地域フォーミュラリーの必要性を感じているが、地域で作成する場合に積極的には関与したくない |
| 3. 地域フォーミュラリーの必要性を感じていない                        |
| 4. 地域フォーミュラリーが必要であるか分からない                       |

【すべての方にお伺いします。】

⑧後発医薬品の使用促進について、国や地方自治体、製薬会社、医療関係者、国民においてどのような取組を行うことが効果的と考えますか。ご意見を自由にお書きください。

【7. はすべての診療所の方にお伺いします。】

7. バイオ後続品の使用に関するお考えについてお伺いします。

注：バイオ後続品とは、国内で既に新有効成分含有医薬品として承認されたバイオテクノロジー応用医薬品（以下「先行バイオ医薬品」という。）と同等／同質の品質、安全性、有効性を有する医薬品として、異なる製造販売業者により開発される医薬品です。

本調査における「バイオ後続品」には、後発医薬品として承認されたバイオ医薬品（いわゆるバイオAG、先行品工場で製造された先行品と同一のバイオ医薬品）を含みます。

国内でバイオ後続品が承認されている先行バイオ医薬品

先行バイオ医薬品の一般的な名称 <sup>注1</sup>	先行バイオ医薬品 販売名
ソマトロピン	ジェノトロピン
エポエチン アルファ	エスポー
フィルグラスチム	グラン
インフリキシマブ	レミケード
インスリン グラルギン	ランタス
リツキシマブ	リツキサン
トラスツズマブ	ハーセプチン
エタネルセプト	エンブレル
アガルシダーゼ ベータ	ファブラザイム
ペバシズマブ	アバステン
ダルベポエチン アルファ <sup>注2</sup>	ネスプ
テリバラチド	フォルテオ
インスリン リスプロ	ヒューマログ
アダリムマブ	ヒュミラ
インスリン アスパルト	ノボラピッド
ラニビズマブ	ルセンティス

注1：（遺伝子組換え）を省略して記載

注2：バイオ後続品と後発バイオ医薬品のそれぞれが承認されている

①貴施設の院内(入院または院内の外来)におけるバイオ後続品の使用に関する考え方について最も近いものはどれですか。 ※○は1つだけ

1. バイオ後続品が発売されているものは、積極的に使用する
2. 品質や有効性、安全性に疑問がないバイオ後続品は積極的に使用する
3. 安定供給に疑問がないバイオ後続品は積極的に使用する
4. 品目によってはバイオ後続品を積極的に使用する
5. 先行バイオ医薬品とバイオ後続品の適応症が同じ場合は積極的に使用する
6. バイオ後続品を積極的には使用していない →質問④へ
7. バイオ医薬品(先行バイオ医薬品、バイオ後続品)の対象となる患者がいらない →質問⑤へ
8. その他(具体的に: ) →質問⑤へ

【②、③は前記①で選択肢 1.~5.(バイオ後続品を積極的に使用する)と回答した方にお伺いします。】

②バイオ後続品を積極的に使用する場合、その理由は何ですか。 ※あてはまる番号すべてに○

- |   |                          |
|---|--------------------------|
| 1. 患者がバイオ後続品の使用を希望するから                  | 2. 患者の経済的負担が軽減できるから      |
| 3. 診療報酬上の評価があるから                        | 4. 経営上のメリットがあるから         |
| 5. 医療費削減につながるから                         | 6. 国がバイオ後続品の使用促進を図っているから |
| 7. いわゆるバイオAG <sup>注3</sup> であれば積極的に使用する |                          |
| 8. その他(具体的に: )                          |                          |

注3: 後発医薬品として承認されたバイオ医薬品(先行品工場で製造された先行品と同一のバイオ医薬品)を指します。

③既に先行バイオ医薬品を使用している患者に、先行バイオ医薬品からバイオ後続品に変更を考慮する場合、その理由は何ですか。 ※あてはまる番号すべてに○

- |                          |                          |
|--------------------------|--------------------------|
| 1. 患者がバイオ後続品の使用を希望するから   | 2. 患者の経済的負担が軽減できるから      |
| 3. 診療報酬上の評価があるから         | 4. 経営上のメリットがあるから         |
| 5. 医療費削減につながるから          | 6. 国がバイオ後続品の使用促進を図っているから |
| 7. いわゆるバイオAGであれば積極的に使用する |                          |
| 8. その他(具体的に: )           |                          |

【前記①で「6.バイオ後続品を積極的には使用していない」と回答した方にお伺いします。】

④バイオ後続品を積極的には使用していない理由としてあてはまるものをお選びください。 ※あてはまる番号すべてに○

1. バイオ後続品の品質や有効性、安全性に疑問があるから
2. バイオ後続品は、先発品(先行バイオ医薬品)と同等/同質の品質・安全性・有効性を有するが同一ではないため
3. バイオ後続品に関する情報提供が不足しているから  
→不足している情報( )
4. バイオ後続品の品目が少ないから
5. バイオ後続品の安定供給に不安があるから
6. 患者への普及啓発が不足しているから
7. 患者の経済的メリットが小さいから
8. 高額療養費や公費医療費制度を利用している患者だから
9. 院内でバイオ後続品の投与や処方を行っていないから
10. 在庫管理等の負担が大きいから
11. 先行バイオ医薬品の薬価差益がバイオ後続品の薬価差益よりも大きいから
12. 先行バイオ医薬品とバイオ後続品の両方を備蓄するのは困難だから
13. 製造販売後調査(PMS)の手間が大きいから
14. 先行バイオ医薬品とバイオ後続品の適応症が異なるから
15. 先行バイオ医薬品とバイオ後続品のデバイスのタイプが異なるから
16. その他(具体的に: )



【すべての方にお伺いします。】

⑤貴施設では、外来患者に対して、バイオ後続品の院外処方箋を発行していますか。 ※○は1つだけ

※バイオ後続品の院外処方箋とは、バイオ後続品の製品名又は一般的名称で処方箋を発行する場合をいいます。  
なお、バイオ後続品の院外処方箋発行の対象となるバイオ製品は在宅自己注射が可能な製品であり、現在使用できるバイオ後続品は、インスリン製剤、ヒト成長ホルモン剤、エタネルセプト製剤、テリパラチド製剤です。

1. 発行している →質問⑥へ

2. 発行していない →14ページの質問⑪へ

【前記⑤で「1.発行している」と回答した方にお伺いします。】

→ ⑥発行する際、処方箋にどのように表記していますか。 ※○は1つだけ

1. バイオ後続品の販売名（例：「●●● B S 注射液 含量 会社名」）
2. バイオ後続品の一般的名称（「○○○（遺伝子組換え）〔●●●後続1〕」）
3. バイオ後続品の一般的名称だが（遺伝子組換え）と記載しない（「○○○〔●●●後続1〕」）
4. 変更不可欄にチェックを入れずに先行品の販売名で処方
5. 変更不可欄にチェックを入れずに先行品の一般的名称で処方（「○○○（遺伝子組換え）」）
6. その他（具体的に：\_\_\_\_\_）

⑦バイオ後続品を院外処方するにあたって薬局・薬剤師に望むことはありますか。 ※あてはまる番号すべてに○

1. 「一般名処方の調剤」または「バイオ後続品への変更調剤」について、予め合意した方法で情報提供を受けること
2. 「一般名処方の調剤」または「バイオ後続品への変更調剤」について、合意方法や頻度によらず情報提供を受けること
3. 患者に対して、バイオ後続品の品質や有効性、安全性について説明を行うこと
4. 患者に対して、バイオ後続品の普及啓発を行うこと
5. その他（具体的に：\_\_\_\_\_）

【⑧、⑨は前記⑥で選択肢 2.3.5.（一般的名称で処方）を選んだ方にお伺いします。】

⑧バイオ医薬品を一般名処方で処方する理由は何ですか。 ※あてはまる番号すべてに○

1. 一般名処方加算のため
2. バイオ後続品導入初期加算のため
3. 電子カルテで一般名が選択できるシステムになっているから
4. 薬局薬剤師もデバイスについて患者の好みを確認し、医師に情報提供すべきだから
5. 薬局薬剤師がバイオ後続品と先行バイオ医薬品のどちらを選択するかは患者の意向を確認し、医師に情報提供すべきだから
6. その他（具体的に：\_\_\_\_\_）

⑨バイオ後続品の一般名処方として望ましい表記はどれですか。 ※あてはまる番号すべてに○

1. バイオ後続品の一般的名称（「○○○（遺伝子組換え）〔●●●後続1〕」）
2. バイオ後続品の一般的名称だが（遺伝子組換え）と記載しない（「○○○〔●●●後続1〕」）
3. 先行品の一般的名称（「○○○（遺伝子組換え）」）
4. その他（具体的に：\_\_\_\_\_）

【前記⑤で「1.発行している」と回答した方にお伺いします。】

⑩令和4年診療報酬改定で外来腫瘍化学療法診療料、外来化学療法加算におけるバイオ後続品導入初期加算が新設されたことで、貴施設におけるバイオ後続品の使用件数が増えましたか。 ※○は1つだけ

1. はい

2. いいえ

3. わからない

【前記⑤で「2.発行していない」と回答した方にお伺いします。】

⑪一般名処方による処方箋を発行していない理由は何ですか。 ※あてはまる番号すべてに○	
1. オーダリングシステムや電子カルテが未導入であるため	
2. 現在のシステムが一般名処方に対応していないため	
3. 処方箋が手書きのため	
4. 一般名では分かりにくく、医療従事者が混乱するため	
5. 一般名では分かりにくく、患者が混乱するため	
6. 手間が増えるため	
7. 保険薬局がメーカーを選択できることに疑問や不安があるため	
8. その他（具体的に： _____）	
9. 特に理由はない	

【すべての方にお伺いします。】

⑫令和4年8月～10月のバイオ医薬品の処方件数 について対象医薬品ごとにそれぞれご回答ください。 ※先行バイオ医薬品とバイオ後続品に分けてご回答ください		
	A.先行バイオ医薬品	B.バイオ後続品
A. インスリン製剤	(                      ) 件	(                      ) 件
B. ヒト成長ホルモン剤	(                      ) 件	(                      ) 件
C. 顆粒球コロニー形成刺激因子製剤	(                      ) 件	(                      ) 件
D. エタネルセプト製剤	(                      ) 件	(                      ) 件
E. テリパラチド製剤	(                      ) 件	(                      ) 件
F. アダリムマブ製剤	(                      ) 件	(                      ) 件

⑬令和4年8月～10月における以下の診療報酬の算定の有無・件数についてご回答ください。			
	1)算定の有無 ※それぞれ○は1つだけ		2)算定件数
A. 在宅自己注射指導管理料における バイオ後続品導入初期加算	1. 算定あり	2. 算定なし	(                      ) 件
B. 外来化学療法加算1における バイオ後続品導入初期加算	1. 算定あり	2. 算定なし	(                      ) 件
C. 外来化学療法加算2における バイオ後続品導入初期加算	1. 算定あり	2. 算定なし	(                      ) 件
D. 外来腫瘍化学療法診療料1における バイオ後続品導入初期加算	1. 算定あり	2. 算定なし	(                      ) 件
E. 外来腫瘍化学療法診療料2における バイオ後続品導入初期加算	1. 算定あり	2. 算定なし	(                      ) 件

⑭ バイオ後続品への置換が進んでいない医薬品についてご回答ください。 ※あてはまる番号すべてに○			
1. インスリン製剤	2. ヒト成長ホルモン剤	3. エタネルセプト製剤	4. テリパラチド製剤
5. リツキシマブ製剤	6. トラスツズマブ製剤	7. ベバシズマブ製剤	8. インフリキシマブ製剤
9. アダリムマブ製剤	10. ラニビズマブ製剤	11. アガルシダーゼ ベータ製剤	
12. バイオ後続品の採用状況の差は、医薬品ごとにあまりない →質問⑩へ			
13. バイオ後続品を採用していない →質問⑩へ			

【前記⑭で選択肢 1.から11を選んだ方にお伺いします。】

⑮ バイオ後続品への置換が進んでいない理由は何ですか。  
前記⑭で選択した医薬品のうち特に置換が進んでいない医薬品を最大3つ選び、それぞれ理由をA～Hから選択してください。 ※選択した各医薬品について、それぞれあてはまる番号(A～H)すべてに○

	1つ目	2つ目	3つ目
特に置換が進んでいない医薬品を最大3つ記載→ (前記⑭の選択肢1.～11.から選択して記入)			
A 診療報酬上の評価が十分ではないから	A	A	A
B 対象の注射薬が対象となる患者がいらないから	B	B	B
C 患者負担があまり軽減されないから	C	C	C
D バイオ後続品の品目数が少ないから	D	D	D
E バイオ後続品の安定供給に不安があるから	E	E	E
F バイオ後続品導入初期加算を知らなかったから	F	F	F
G 先行バイオ医薬品との適応症の差があるから	G	G	G
H その他(具体的に: )	H	H	H

【前記⑮で選択肢A「診療報酬上の評価が十分ではないから」を選んだ方にお伺いします。】

⑯ 前記⑮の選択肢A「診療報酬上の評価が十分ではないから」の中であてはまる理由は何ですか。  
※あてはまる番号すべてに○

	1つ目	2つ目	3つ目
前記⑮において選択した医薬品について回答ください→			
A-1 加算点数が少ないから	A-1	A-1	A-1
A-2 算定要件がわからないから	A-2	A-2	A-2
A-3 算定要件が厳しいから	A-3	A-3	A-3
A-4 初回処方日の属する月から逆算して3カ月しか算定できないから	A-4	A-4	A-4
A-5 月1回しか算定できないから	A-5	A-5	A-5

【すべての方にお伺いします。】

⑰ 今後、どのような対応が進めば、バイオ後続品の使用を進めてよいと考えますか。 ※あてはまる番号すべてに○	
1. 診療報酬上の評価	2. より患者負担が軽減されること
3. 医師、薬剤師への国からのバイオ後続品に関する情報の周知	
4. 国からの国民への啓発と患者の理解	5. バイオ後続品企業からの情報提供
6. 先行バイオ医薬品からバイオ後続品に切り替えを含む臨床試験データの充実やガイドライン等の整備	
7. バイオ後続品の品目数が増えること	8. バイオ後続品の供給がより安定すること
9. バイオ後続品の在庫の負担軽減	10. 医療機関に対する経営的メリットがあること
11. その他(具体的に: )	
12. バイオ後続品を使用する必要はない	

【8. はすべての診療所の方にお伺いします。】

8. 後発医薬品に係る最近の対応状況についてお伺いします。

①1年前と比較して後発医薬品の供給体制についてどのように感じますか。 ※○は1つだけ		
1. 改善した	2. 変わらない	3. 悪化した
②現在(令和4年11月1日)において、後発医薬品の処方割合に変化はありましたか。 ※○は1つだけ		
1. 後発医薬品の処方割合がかなり減った		
2. 後発医薬品の処方割合がやや減った		
3. 後発医薬品の処方割合の変化はほとんどなかった		
4. 後発医薬品の処方割合が増えた		
5. わからない		

【前記②で「1. 後発医薬品の処方割合がかなり減った」「2. 後発医薬品の処方割合がやや減った」と回答した方にお伺いします。】

③後発医薬品の処方割合が減った理由は何ですか。 ※最も影響の大きい項目を選んで○
1. 患者（家族含む）が先発医薬品を希望した
2. 後発医薬品の品質や医学的な理由（効果や副作用）に疑問があるので処方を減らした
3. 後発医薬品メーカーや卸による安定供給体制が整わないので処方を減らした
4. 後発医薬品の在庫が無い、あるいは入庫（入手）できないので先発医薬品に変更した
5. その他（具体的に： _____）

【すべての方にお伺いします。】

④後発医薬品の供給不安に関する対応として、どのようなことを行いましたか。 ※あてはまる番号すべてに○
1. 後発医薬品を先発医薬品に採用品目の見直しを行った
2. 後発医薬品を別の後発医薬品に採用品目の見直しを行った
3. 同一成分の後発医薬品の入手が困難なため、代替のための後発医薬品の調達を行った
4. 同一成分の後発医薬品の入手が困難なため、同一成分の先発医薬品の調達を行った
5. 後発医薬品使用に関する患者の意向を把握または確認する頻度を増やした
6. 患者からの後発医薬品使用に関する相談や苦情等の対応を行った
7. 後発医薬品の品質や安全性に関する情報収集を行った
8. 後発医薬品メーカーや卸から供給に関する情報の収集を行った
9. 保険薬局と在庫状況や使用に関する情報交換を行った
10. その他（具体的に： _____）

アンケートにご協力いただきまして、ありがとうございました。

お手数をおかけいたしますが、令和5年1月10日（火）までに専用の返信用封筒（切手不要）に封入し、お近くのポストに投函してください。